

平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3710 URL <http://www.jorudan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 俊和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長(氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	1,216	1.6	129	36.4	136	34.0	26	
24年9月期第1四半期	1,235	3.4	204	7.4	206	6.9	97	26.6

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 14百万円(%) 24年9月期第1四半期 104百万円(36.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	5.03	
24年9月期第1四半期	18.86	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	4,317	3,390	76.7
24年9月期	4,781	3,477	70.5

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 3,312百万円 24年9月期 3,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期		0.00		8.00	8.00
25年9月期					
25年9月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,500	1.5	300	7.8	300	10.3	75	56.1	14.37
通期	4,750	2.2	610	8.4	600	5.0	370	132.1	70.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成24年11月14日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。具体的な内容につきましては、本日公表しております「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) イーツアー株式会社、除外 1社(社名) 株式会社エクスプレス・コンテンツバンク

(注) イーツアー株式会社については、みなし取得日を当第1四半期連結会計期間末としているため、当第1四半期は貸借対照表のみを連結しております。株式会社エクスプレス・コンテンツバンクについては、みなし売却日を当第1四半期連結会計期間末としているため、当第1四半期は損益計算書のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期1Q	5,255,000株	24年9月期	5,255,000株
25年9月期1Q	35,403株	24年9月期	35,403株
25年9月期1Q	5,219,597株	24年9月期1Q	5,195,898株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3 . 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年10月1日～平成24年12月31日)におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景として弱い動きとなっているものの、海外経済の状況が改善するにつれ、再び景気回復に向かうことが期待される状況となっております。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は緩やかに増加しておりますが、情報サービス業及びインターネット附随サービス業の売上高は前年同四半期(平成23年10月1日～平成23年12月31日)と比べほぼ横ばいという状況にあります。このような中、スマートフォンの急速な普及に加え、無線LANやモバイルデータ通信の高速規格の普及等、モバイル情報通信に関する市場環境の変革が加速してまいりました。

当社グループにおきましても、この市場環境の変革に対応し、更なる事業展開の基盤を確立してまいりました。「乗換案内」の各種インターネットサービス(携帯電話サイト・スマートフォンアプリ・スマートフォンサイト・PCサイト)の検索回数は平成24年12月には月間約2億回となっており、多くの方々に広くご利用いただいております。

このような環境の中で、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,216,044千円(前年同四半期比1.6%減)、営業利益は129,952千円(前年同四半期比36.4%減)、経常利益は136,170千円(前年同四半期比34.0%減)、四半期純損失が26,274千円(前年同四半期は97,977千円の利益)という経営成績となりました。

売上高につきましては、乗換案内事業セグメントにおける売上高が988,093千円(前年同四半期比1.6%減)、その他セグメントにおける売上高が30,100千円(前年同四半期比31.8%減)となったこと等により、前年同四半期と比べ微減となりました。利益につきましては、前年同四半期と比べ、各セグメントにおいて利益の減少もしくは損失の増加となっております。それらの結果、営業利益及び経常利益は前年同四半期と比べ減少しております。四半期純損失につきましては、子会社株式売却益の発生等の一方で、のれん償却額の発生等があり、上記の結果となっております。

なお、前連結会計年度末より、株式会社グルメリブネットワークを連結の範囲に含めており、当第1四半期連結会計期間より損益を連結しております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(乗換案内事業)

乗換案内事業は全体として、売上高・営業利益ともに前年同四半期と比べやや減少いたしました。製品・サービス別の状況を踏まえた主な変動要因は以下の通りです。

モバイル向けの事業につきましては、モバイル向け有料サービスである「乗換案内NEXT」とスマートフォン向け有料版アプリケーション「乗換案内Plus」を合わせた会員数は、当第1四半期連結会計期間末には約57万人となっております。その結果、前年同四半期と比べ売上高は減少しておりますが、前連結会計年度末(平成24年9月末)と比べ会員数は増加しております。また、旅行関連事業に関しましては、業務の見直し及び効率化等を進めており、売上高は前年同四半期と比べ減少しております。

一方で、広告につきましては、各種「乗換案内」サービスの利用が増加していること等により、売上高は前年同四半期と比べやや増加しております。また、当第1四半期連結累計期間より新たに株式会社グルメリブネットワークの損益を連結しており、前年同四半期と比べグルメリブ関連事業の売上高を新たに計上しております。

以上の結果、乗換案内事業全体としては売上高988,093千円(前年同四半期比1.6%減)となりました。営業利益につきましては、上記の売上高の減少や新サービスの開発費用の増加等の影響により、288,644千円(前年同四半期比10.4%減)となりました。

(マルチメディア事業)

マルチメディア事業では、出版につきましては、総合オピニオン誌『表現者』を発行しているほか、「ジョルダンブックス」として書籍を発売しております。またモバイル向けには、「アクセスBOOKS」「つかえるえもじ」「ゲーム スター」等を提供しております。

スマートフォンでの利用者の増加等により、全体として売上高は増加しております。一方で、スマートフォンへの対応のための広告宣伝費等の増加もあり、営業損失が増加しております。

以上の結果、売上高207,538千円(前年同四半期比3.6%増)、営業損失61,329千円(前年同四半期は41,450千円の損失)となりました。

(その他)

受託ソフトウェア開発等におきまして、前年同四半期にはそれ以前から着手していた比較的大型の開発案件の完了等がありましたが、当第1四半期連結累計期間においてはそういったものが無く、前年同四半期と比べた売上高は減少しております。それに伴い、損益につきましても、当第1四半期連結累計期間におきましては営業損失が発生しております。

以上の結果、売上高30,100千円(前年同四半期比31.8%減)、営業損失9,056千円(前年同四半期は5,597千円の利益)となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、営業利益は、配賦不能営業費用及びセグメント間の内部取引による営業費用の控除前の数値であり、合計は連結営業利益と一致しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末における財政状態は、前連結会計年度末(平成24年9月末)と比較しますと、資産は464,174千円減の4,317,505千円、負債は377,693千円減の926,515千円、純資産は86,482千円減の3,390,989千円となりました。

資産は、流動資産につきましては、602,010千円減の3,208,850千円となりました。これは、現金及び預金が444,287千円減の2,306,538千円、受取手形及び売掛金が309,766千円減の586,744千円となったこと等の影響が、その他に含まれる前渡金が172,167千円増の184,154千円となったこと等の影響を上回ったことによるものです。現金及び預金が減少しているのは、株式会社エクスプレス・コンテンツバンク(EXCB)が当第1四半期連結累計期間末より連結の範囲から外れ、持分法適用の関連会社となったことに加え、イーツアー株式会社の株式を取得したこと等によるものです。受取手形及び売掛金につきましても、主にEXCBが連結の範囲から外れたことにより、大きく減少しております。また、その他に含まれる前渡金が大きく増加しているのは、イーツアー株式会社を当第1四半期連結累計期間末から連結の範囲に含めたこと等によるものです。

固定資産につきましては、137,835千円増の1,108,655千円となりました。これは、有形固定資産が37,048千円増の220,569千円、無形固定資産が14,854千円減の316,119千円、投資その他の資産が115,641千円増の571,966千円となったことによるものです。有形固定資産が増加しているのは、主に建物の取得によるものです。無形固定資産が減少しているのは、前連結会計年度末にあったのれん53,606千円が無くなった影響が、ソフトウェアが36,107千円増の311,944千円となったこと等の影響を上回ったことによるものです。のれんが無くなったのは、EXCBが連結の範囲から外れたことによるものです。投資その他の資産が増加しているのは、投資有価証券が68,949千円増の291,116千円、敷金及び保証金が47,983千円増の239,408千円となったこと等によるものです。投資有価証券が増加したのは、主にEXCBが連結の範囲から外れ持分法適用の関連会社となったことによるものです。敷金及び保証金が増加したのは、主にイーツアー株式会社を連結の範囲に含めたことによるものです。

負債は、流動負債につきましては、261,751千円減の875,834千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が101,633千円減の203,188千円、1年内返済予定の長期借入金が69,064千円減の44,330千円、未払費用が74,148千円減の101,674千円、未払法人税等が188,101千円減の32,008千円、賞与引当金が63,477千円減の25,661千円となったこと等の影響が、その他に含まれる前受金が224,515千円増の382,097千円となったこと等の影響を上回ったことによるものです。支払手形及び買掛金、1年内返済予定の長期借入金並びに未払費用が減少しているのは、主にEXCBが連結の範囲から外れたことによるものです。未払法人税等が減少しているのは、主に法人税等の支払によるものです。賞与引当金が減少しているのは、主に賞与の支払によるものです。

固定負債につきましては、115,942千円減の50,681千円となりました。これは、長期借入金119,542千円減の38,181千円となったこと等によるものです。長期借入金が増加しているのは、主にEXCBが連結の範囲から外れたことによるものです。

純資産は、株主資本が68,031千円減の3,309,374千円、その他の包括利益累計額が9,843千円増の2,750千円、少数株主持分が28,294千円減の78,864千円となりました。株主資本が増加しているのは、四半期純損失26,274千円及び剰余金の配当41,756千円の影響により、利益剰余金が68,031千円減の2,762,119千円となったことによるものです。少数株主持分が増加しているのは、主にEXCBが連結の範囲から外れたことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月14日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。具体的な内容につきましては、本日公表しております「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、イーツアー株式会社の株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。なお、平成24年12月31日をみなし取得日としたため、当第1四半期連結累計期間は、貸借対照表のみを連結しております。

また、当第1四半期連結会計期間において、株式会社エクスプレス・コンテンツバンクの株式を一部譲渡したことにより、持分比率が低下し関連会社となったため連結の範囲から除外しておりますが、平成24年12月31日をみなし売却日としたため、当第1四半期連結累計期間の損益計算書については連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,750,825	2,306,538
受取手形及び売掛金	896,510	586,744
商品及び製品	6,111	5,906
仕掛品	936	22,546
原材料及び貯蔵品	353	652
繰延税金資産	94,382	45,349
その他	90,119	252,303
貸倒引当金	28,378	11,190
流動資産合計	3,810,859	3,208,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,335	99,563
機械装置及び運搬具(純額)	3,692	3,324
工具、器具及び備品(純額)	70,093	67,281
土地	50,400	50,400
有形固定資産合計	183,521	220,569
無形固定資産		
のれん	53,606	-
ソフトウェア	275,837	311,944
その他	1,528	4,174
無形固定資産合計	330,972	316,119
投資その他の資産		
投資有価証券	222,167	291,116
敷金及び保証金	191,425	239,408
長期貸付金	5,000	5,000
長期滞留債権	4,539	3,500
長期預金	-	3,900
繰延税金資産	30,798	26,116
その他	11,767	11,258
貸倒引当金	9,372	8,333
投資その他の資産合計	456,325	571,966
固定資産合計	970,820	1,108,655
資産合計	4,781,679	4,317,505

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	304,821	203,188
1年内返済予定の長期借入金	113,394	44,330
未払費用	175,822	101,674
未払法人税等	220,108	32,008
未払消費税等	18,191	20,105
賞与引当金	89,139	25,661
役員賞与引当金	8,200	2,050
返品調整引当金	1,470	1,273
ポイント引当金	27,580	4,500
受注損失引当金	-	3,700
その他	178,858	437,342
流動負債合計	1,137,585	875,834
固定負債		
長期借入金	157,723	38,181
ポイント引当金	-	3,600
その他	8,900	8,900
固定負債合計	166,623	50,681
負債合計	1,304,208	926,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	287,290	287,290
利益剰余金	2,830,150	2,762,119
自己株式	17,410	17,410
株主資本合計	3,377,405	3,309,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,113	5,139
為替換算調整勘定	978	7,890
その他の包括利益累計額合計	7,092	2,750
少数株主持分	107,157	78,864
純資産合計	3,477,471	3,390,989
負債純資産合計	4,781,679	4,317,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,235,729	1,216,044
売上原価	587,211	566,312
売上総利益	648,517	649,731
返品調整引当金戻入額	3,283	1,470
返品調整引当金繰入額	2,768	1,273
差引売上総利益	649,032	649,928
販売費及び一般管理費	444,747	519,976
営業利益	204,284	129,952
営業外収益		
受取利息	6	354
受取配当金	65	1,185
為替差益	240	2,510
助成金収入	1,420	1,800
雑収入	607	1,176
営業外収益合計	2,339	7,025
営業外費用		
支払利息	282	802
雑損失	114	5
営業外費用合計	396	808
経常利益	206,228	136,170
特別利益		
子会社株式売却益	-	22,576
負ののれん発生益	1,550	-
特別利益合計	1,550	22,576
特別損失		
固定資産除却損	5,621	1,350
関連会社株式評価損	4,102	-
のれん償却額	-	114,829
特別損失合計	9,723	116,179
税金等調整前四半期純利益	198,055	42,567
法人税等合計	93,608	66,903
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	104,446	24,336
少数株主利益	6,469	1,937
四半期純利益又は四半期純損失()	97,977	26,274

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	104,446	24,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	973
為替換算調整勘定	-	8,869
その他の包括利益合計	-	9,842
四半期包括利益	104,446	14,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,977	16,431
少数株主に係る四半期包括利益	6,469	1,937

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,003,666	200,336	1,204,003	31,726		1,235,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40		40	12,393	12,433	
計	1,003,707	200,336	1,204,043	44,119	12,433	1,235,729
セグメント利益 又は損失()	322,198	41,450	280,747	5,597	82,060	204,284

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 82,060千円には、のれん償却額 8,934千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 73,126千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	987,940	207,538	1,195,479	20,564		1,216,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	153		153	9,535	9,688	
計	988,093	207,538	1,195,632	30,100	9,688	1,216,044
セグメント利益 又は損失()	288,644	61,329	227,315	9,056	88,306	129,952

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 88,306千円には、のれん償却額 8,934千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 79,371が含まれております。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間末において、株式会社エクスプレス・コンテンツバンクの株式を一部譲渡し連結の範囲から除外したことに伴い、のれん金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象による当第1四半期連結累計期間におけるのれんの減少額は、44,672千円でありませ

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。